



読書の秋

～3年生による1年生への読み聞かせ～

読書の秋にふさわしく、3年生が1年生への「読み聞かせ」の活動を展開しています。国語科の学習の発展として朝の時間に1年生の教室に出向いて、読み聞かせを行っています。本を選ぶのも、読みの分担も、役割なども自分たちで決めての活動しています。

「読み聞かせ」には

- コミュニケーションがとれる。
- 感情を豊かにする。想像力がつく。
- 言葉の表現を知り国語力がアップする
- 集中力が身に付く。等の効果があるとされています。



読み聞かせは年齢に関係なく効果があるとされています。読書の秋、親も楽しみながら読み聞かせにチャレンジしてみませんか。普段とは違った幸せな時間になるかもしれません。

あいさつ運動の広がり3

～あいさつの効果 あいさつすると・・・～

このところ、あいさつの話題を学校だよりで紹介することが多くなっています。それだけ広がりを見せているからなのですが、子どもたちの活動を見ていると「あいさつ」についていろいろと考えさせられます。

というのも、子どもたちの活動がとっても楽しそうなのです。このところ助っ人として活躍している3年生は学校前を通る自動車の運転手さんや通勤・通学の方へ元気なあいさつをはじめました。「あいさつしたら、手を振ってくれた。」「車の中からお辞儀してくれた。」ととてもうれしそうで、しかも活動を楽しんでいるのです。（写真はありませんが、女の子も参加してくれていました。）

2年生には「あいさつ係」ができたそうです。教室前に立ってみんなにあいさつをしています。（手洗い係もいて、登校後の手洗いを促していました。）あいさつはもちろん単なる習慣という側面もありますが、そもそも「あいさつ＝コミュニケーション」「コミュニケーション＝楽しいもの」なのではないでしょうか。子どもたちの活動を見て、あいさつは気持ちいいものなのだあらためて思うのです。

さらにプラスして、「やらされた活動、決められた活動ではなく、自分たちで作りに出したものは楽しい」というものもあるように思えるのです。

子どもたちのあいさつから、いろいろな学びをさせてもらっています。



本日、全学年で「タブレットの持ち帰り」を実施します。できるだけ子どもたちが自力でタブレットを操作し、課題に対応できるように準備はしてきたつもりですが、ご家庭においても子どもたちの様子等を見ていただければと思います。また、タブレットは精密機械ですので、できるだけ丁寧に扱うようお願いいたします。

※「家庭でのタブレット端末の使用について」（配布済）の内容を再度ご確認ください。

タブレットの持ち帰り等に係る不具合や意見などありましたら、連絡帳を通じて担任にご連絡いただけますようお願いいたします。